

E

東野便り
HIGASHINO DAYORI

01

学校法人
盈進学園
東野高等学校
総務部

2022年度 誰ひとり取り残さない学校を目指し【発信・安心】について

東野高等学校 校長 北村 陽子

謹啓

陽春の候、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。2022年度もコロナ禍でのスタートとなりました。これからの with コロナの時代をどう生きるか、すでに模索してきたことを実行に移し、充実した高校生活になるよう、そして少しでも満足度が上がるように努めてまいりたいと思います。

今年度のテーマは、【発信・安心】といたしました。

まず【発信】についてですが、今まで本校が取り組んできたことが周りの人に正しく深く理解されているかを振り返ったとき、少し弱いのではないかと悩む部分もあります。それは実にもったいないことです。「英検週間」「インターナショナルIクラス」「東野SDGs」・・・「文化祭」「体育祭」「修学旅行」・・・それらの活動をもっと発信したなら、自分に返る責任もありますが、他者からの理解は高まるはずだろうと考えました。日本人の悪いところは、黙ることが美德と勘違いしていることのような気がします。それでは、世界には通用しません。これからの社会を生き抜くためには、考えていることを発信し議論をし、例えば他人の言動について賛同できるのであれば、直接的ではないにしても共感支援を表すことが大切だと思います。

【安心】について考えたとき、このような状況においては多くの方々が最も欲していることのひとつのようです。予測不可能な時代だからこそ【安心】を求めるところでしょう。何が安心をもたらすか、所属場所（居場所）があることは安心につながるでしょう。生徒たちの所属場所は各家庭であり、この東野高校です。誰かと話す冷静になれる。その場所が生徒たちにはあります。また、2022年度より18歳からが成人となりました。成人になると何が出来てどうすべきなのか学びましょう。大人になることを意識するのは大切です。ただ、高校生の間は、お金は借りない・分割払いはしないことは実践してほしいと思います。詳細については授業の中でも取り組む予定です。そして大切なこととして、本校卒業後の進路を最も納得のいくものへと決定する道筋を明確にすることこそが【安心】感を持つには必要でしょう。

2022年度からは本格的に高校教育課程に「総合的探究の時間」が導入されます。すでに本校では、2021年度からの探究学習として「東野SDGs」の取り組みによって正解のない課題と向きあっています。このことが必ずこの後の人生において、生きるエンジンとなるはず。社会は少しずつでも変えることが出来ると考える、その意識を失くさせはしません。そして、大人っていいね！ そのボタンを押してほしいものです。変化の春を気にかけて、生徒たちは自信を【発信】し、保護者の方には、このような考え方の出来るお子様にご期待と【安心】をお持ちいただけるように進んでいく所存です。

建学の精神「知識は第一の宝」「品行は最高の美」「忍耐は無上の力」をもっと【発信】するようにご指摘いただきました。今年度は、特に「品行は最高の美」を強く意識しようと思います。謙虚さは教養です。数値に表れない努力・実力を見失わずに歩む覚悟です。2022年度もよろしくお願いいたします。

謹白

●2022年度 東野高等学校 教職員体制（学年体制は、学年便りで紹介させていただきます）

理事長…中川 進 校長…北村 陽子 事務室長…小野田 正利 教頭…小黒 真之介 主幹教諭…平井 廣治
相談役…西本 敬 養護教諭…田中 美和・大島 麻里 ネイティブ…イザベル・ケイト・ティファニー

学校法人
盈進学園 東野高等学校〒358-8558 埼玉県入間市二本木112-1
Phone 04-2934-5292(代表) Fax 04-2934-4665EISHIN GAKUEN HIGASHINO HIGH SCHOOL
SCHOOL FOUNDATION112-1 Nihongi, Iruma City, Saitama Prefecture 358-8558 JAPAN
Phone +81-4-2934-5292 Fax +81-4-2934-4665